

令和5年10月27日

会場建設費の精査結果に関する確認事項

【会場建設費の直近の契約状況】

- 会場建設費の直近（R5年9月）の契約状況について、10月20日に博覧会協会が示した資料（以下、「説明資料」という。）に1,850億円の項目として記載している、「大工区」、「主要施設」、「土木工区」、「設備発注」、「交通施設」、「調査設計」、「警備関係」などについて、その内訳と契約金額を提示いただきたい。
- 説明資料の2,220億円についても、同様に提示いただくとともに、今後の執行予定についても提示いただきたい。また、施工環境改善以外の追加項目があれば提示いただきたい。

【①物価上昇+527億円について】

- 説明資料の物価上昇（+527億円）の算出の考え方や、算出にあたって採用した物価指数など、具体的な積算根拠を提示いただきたい。
- また、これは各年度の事業費をもとに算出されていると考えるが、大阪府・市の会場建設費補助金の執行管理（交付決定）の中で、これまで府・市が確認してきた年割額と整合がとれているか、確認いただきたい。
- 前回の増額時、協会から、会場建設費1,850億円は工事費1,700億円と物価上昇などの変動対応分150億円で構成されているとの説明を受けた。今回の精査結果において、この変動対応分150億円がどのように反映されているか、提示いただきたい。

【②工事内容の見直しによる変更▲157億円について】

- 説明資料の「調達方法の見直し（協賛獲得）」「会場デザインの変更等」「施工方法の調整、仕様見直し」「電力関係設備等の見直し」等について、それぞれの項目の詳細な内訳と金額を増減要素も含めて提示いただきたい。

【③予備費+130億円について】

- 今回の精査結果で、新たに予備費を計上しているが、その考え方を説明いただきたい。
- 積算で用いられた6%の根拠の妥当性を説明いただきたい。
- また、今後、どのような場合に予備費の執行を想定しているのか説明いただきたい。

【タイプXについて】

- 今回の精査結果の中に、タイプXに移行する国の建て替え費用は含まれているのか、説明いただきたい。

【今後に向けて】

協会における会場建設費の今後の執行管理について、以下についても回答願いたい。

- 今後は、より一層厳しいコスト管理を徹底し、コスト縮減に努め、今回の増額を最後にされたい。
- 協会の理事会ごとに会場建設費の執行状況を公表されたい。
- 予備費を執行する場合は、予め協議されたい。